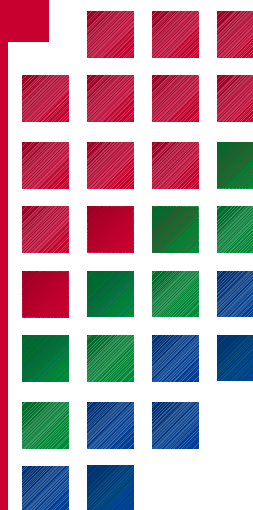




2019年3月期 第1四半期決算の概要

2018年8月10日



日本郵政グループ 決算の概要

■ 2019年3月期 第1四半期の経営成績

(億円)

	日本郵政グループ	日本郵政グループ		
		日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	31,591	9,501	4,705	19,786
前年同期比	△ 1,120	+ 370	—	△ 1,348
	(△ 3.4%)	(+ 4.1%)	(—)	(△ 6.4%)
経常利益	2,101	251	1,066	752
前年同期比	△ 79	+ 176	—	△ 79
	(△ 3.7%)	(+ 236.4%)	(—)	(△ 9.6%)
四半期純利益	1,235	229	783	340
前年同期比	+ 190	+ 170	—	+ 99
	(+ 18.2%)	(+ 290.5%)	(—)	(+ 41.1%)

■ 2019年3月期 通期業績予想 (2018年5月公表)

経常利益	6,600	570	3,700	2,200
(1Q進捗率)	(31.8%)	(44.1%)	(28.8%)	(34.2%)
当期純利益	3,300	450	2,600	880
(1Q進捗率)	(37.4%)	(51.1%)	(30.1%)	(38.7%)

注1: 億円未満の決算数値は切捨て。また、日本郵政グループ数値と各社数値の合算値は、他の連結処理(持株会社・その他子会社の合算、グループ内取引消去等)があるため一致しない。

注2: 各社の数値については、各社を親会社とする連結決算ベース。また、「四半期純利益」及び「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値を記載。

注3: ゆうちょ銀行の数値については、2018年3月期第3四半期までは連結決算ベースでの数値を作成していないため、前年同期の数値はない(P6からP8までに単体決算ベースの数値を記載。)

郵便・物流事業 決算の概要

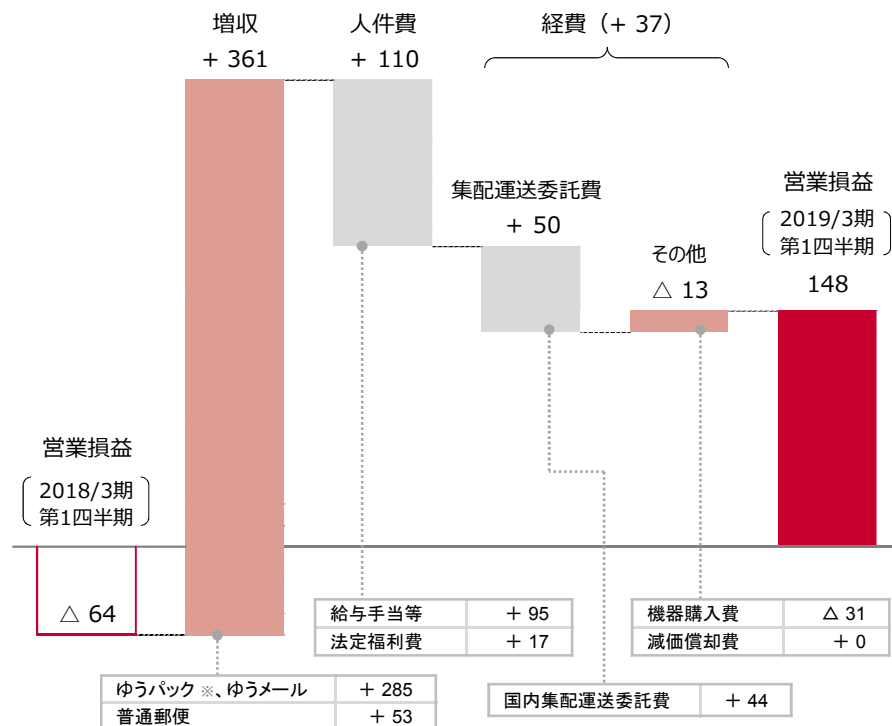
- 取扱数量は、ゆうパック・ゆうパケットが増加基調を維持(24.6%増)。ゆうメールは微増、郵便物は微減で推移。
- 営業収益は、荷物分野の収益拡大が寄与し、前年同期比361億円(7.8%)の増収。
- 営業費用は人件費・経費ともに増加したものの、それを上回る増収により、営業損益は前年同期の赤字から148億円の黒字に転換。

営業損益の増減分析(前年同期比)

[営業損益の推移]

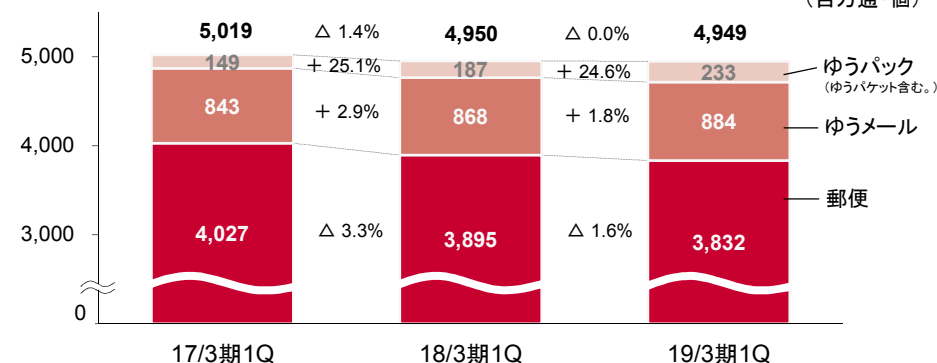
17/3期 1Q	18/3期 1Q	19/3期 1Q
△ 58	△ 64	148

(億円)



物数の推移

(百万通・個)



当第1四半期の経営成績

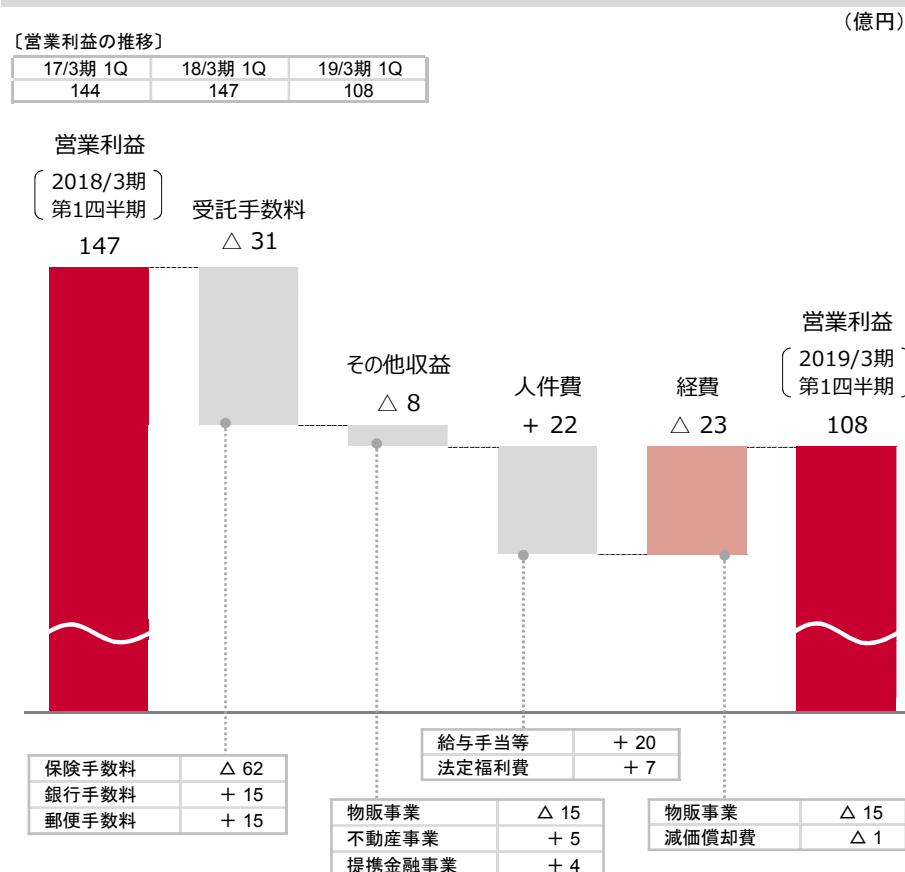
(億円)

	2019/3期 第1四半期	2018/3期 第1四半期	増減
営業収益	4,977	4,616	+ 361
営業費用	4,829	4,681	+ 147
人件費	3,111	3,000	+ 110
経費	1,718	1,681	+ 37
営業損益	148	△ 64	+ 213

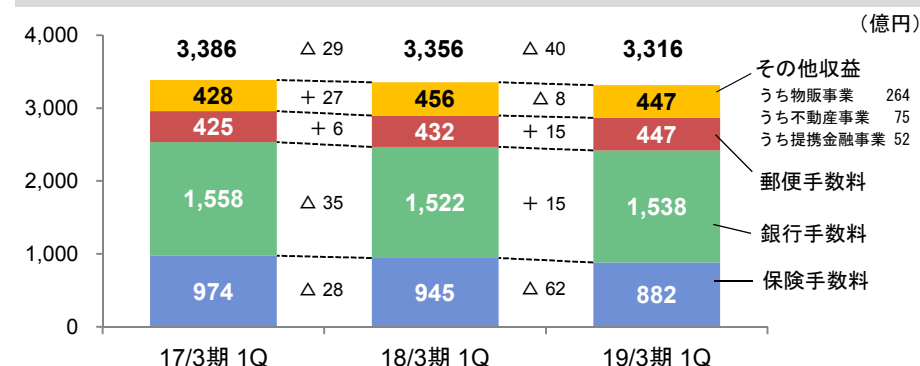
金融窓口事業 決算の概要

- 営業収益は、かんぽ新契約の減少を主因とする受託手数料の減少により、前年同期比40億円(1.2%)の減収。不動産事業・提携金融事業については堅調に推移。
- 営業費用は人件費の増加を吸収して前年同期並みに抑えたものの、営業利益は前年同期比39億円(26.6%)の減益。

営業利益の増減分析(前年同期比)



収益構造の推移



当第1四半期の経営成績

(億円)

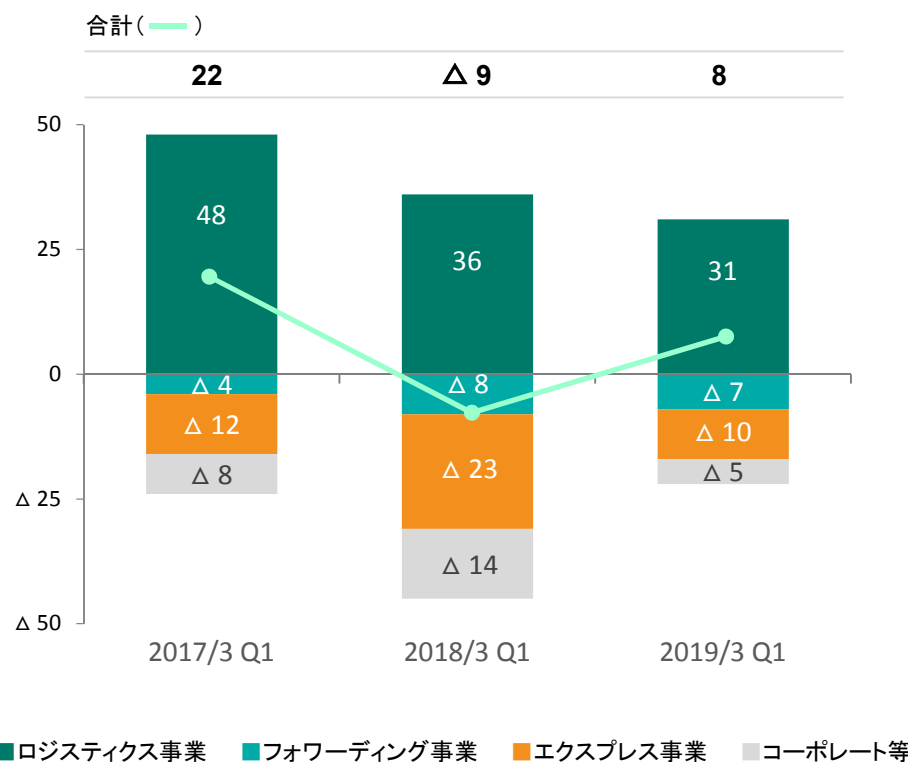
	2019/3期 第1四半期	2018/3期 第1四半期	増減
営業収益	3,316	3,356	$\Delta 40$
営業費用	3,207	3,208	$\Delta 0$
人件費	2,303	2,280	+ 22
経費	904	928	$\Delta 23$
営業利益	108	147	$\Delta 39$

国際物流事業 決算の概要

- 営業収益は、主としてロジスティクス事業の収益拡大により、前年同期比95百万豪ドル(4.9%)の増収。
- 営業損益(EBIT)は、主としてエクスプレス事業の赤字幅の改善により、前年同期の赤字から8百万豪ドルの黒字に転換。
- 引き続き経営改善に取り組み、業績上昇を確実なものとしていく。

事業別の営業損益(EBIT)の推移

(百万豪ドル)



当第1四半期の経営成績

(百万豪ドル、下段括弧内は億円)

	2019/3期 第1四半期	2018/3期 第1四半期	増減
営業収益	2,046 (1,690)	1,951 (1,627)	+ 95 (+ 62)
営業費用	2,038 (1,683)	1,960 (1,635)	+ 77 (+ 48)
人件費	649 (536)	652 (543)	△ 2 (△ 7)
経費	1,389 (1,147)	1,308 (1,091)	+ 80 (+ 55)
営業損益 (EBIT)	8 (6)	△ 9 (△ 7)	+ 17 (+ 14)

注：営業損益はトール社のEBITの数値を記載。表の下段括弧内は期中平均レート(2019/3期第1四半期 82.59円/豪ドル、2018/3期第1四半期 83.42円/豪ドル)での円換算額をそれぞれ記載。

日本郵便（連結） 決算の概要（まとめ）

- 営業収益は、好調な郵便・物流事業が寄与し、前年同期比371億円(4.1%)増の9,484億円を計上。
- 営業利益は前年同期比176億円(237.5%)増の251億円、四半期純利益は前年同期比170億円(290.5%)増の229億円を計上し、各利益ベースで増収増益。

四半期純利益の増減分析(前年同期比)

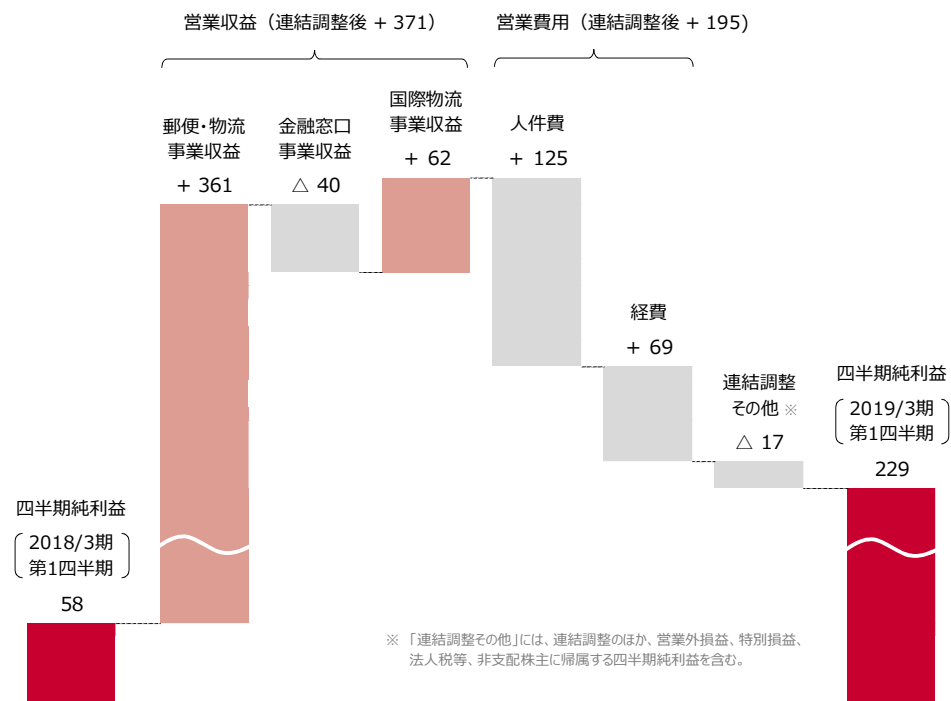
(億円)

〔営業利益の推移〕

17/3期 1Q	18/3期 1Q	19/3期 1Q
32	74	251

〔四半期純利益の推移〕

17/3期 1Q	18/3期 1Q	19/3期 1Q
44	58	229



当第1四半期の経営成績

(億円)

	2019/3期 第1四半期	2018/3期 第1四半期	増減
営業収益	9,484	9,113	+ 371
営業費用	9,233	9,038	+ 195
人件費	5,950	5,824	+ 125
経費	3,283	3,213	+ 69
営業利益	251	74	+ 176
経常利益	251	74	+ 176
特別損益	△ 2	△ 4	+ 2
税引前四半期純利益	248	70	+ 178
四半期純利益	229	58	+ 170

ゆうちょ銀行（単体）決算の概要

当第1四半期の経営成績

(億円、%)

	2019/3期 第1四半期	2018/3期 第1四半期	増減
業務粗利益	3,700	3,871	△ 171
資金利益	2,766	3,039	△ 273
役務取引等利益	267	241	+ 26
その他業務利益	666	591	+ 75
経費 ^{注1}	2,634	2,629	+ 4
一般貸倒引当金繰入額	—	0	△ 0
業務純益	1,066	1,241	△ 175
臨時損益	△ 0	1	△ 1
経常利益	1,066	1,242	△ 176
四半期純利益	782	893	△ 111
経常収益	4,704	4,871	△ 167
経常費用	3,638	3,628	+ 9
貯金残高 ^{注2}	1,813,515	1,808,272	+ 5,243
単体自己資本比率 (国内基準)	17.00	20.25	△ 3.24
(参考: 連結決算情報)			
連結経常利益	1,066	—	—
連結四半期純利益 ^{注3}	783	—	—

概要

- 当第1四半期の業務粗利益は、前年同期比171億円減少の3,700億円。
このうち、資金利益は、国債利息の減少を主因に、前年同期比273億円の減少。一方、役務取引等利益は、前年同期比26億円の増加。その他業務利益は、外国為替売買損益の増加等により、前年同期比75億円の増加。
- 経費は、前年同期比4億円増加の2,634億円。
- 金利が低位で推移するなど厳しい経営環境下、業務純益は前年同期比175億円減少の1,066億円。
- 経常利益は前年同期比176億円減少の1,066億円。
- 四半期純利益は782億円、前年同期比111億円の減益。
- 連結四半期純利益は783億円。通期業績予想に対して30.1%の進捗率。
- 当四半期末の貯金残高は、181兆3,515億円。
- 単体自己資本比率(国内基準)は、17.00%。

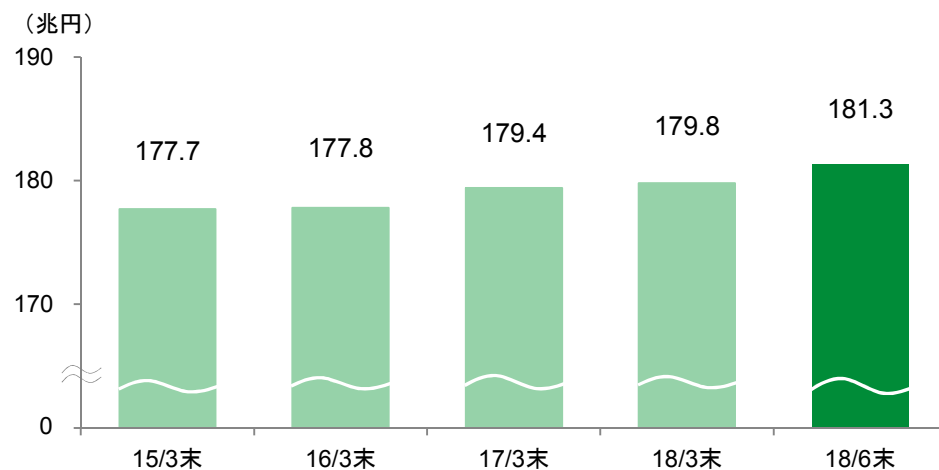
注1: 臨時処理分を除く。

注2: 未払利子を除く。

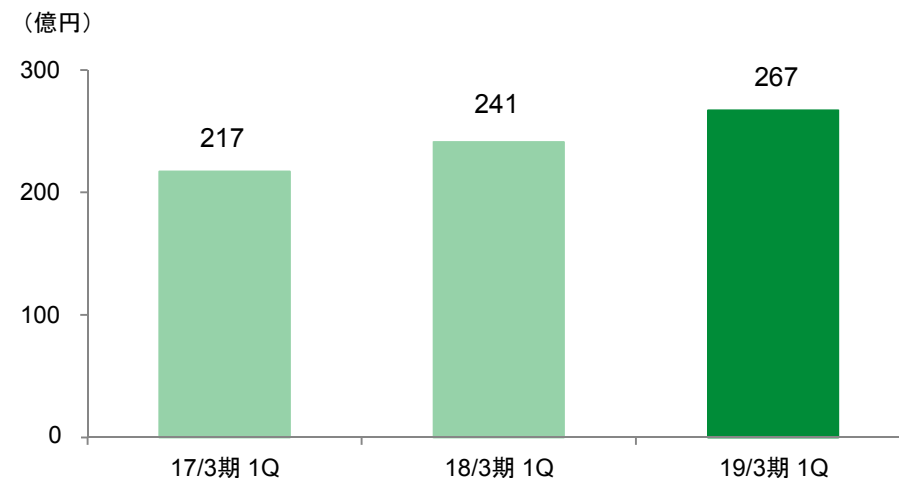
注3: 親会社株主に帰属する四半期純利益の数値を記載。

ゆうちょ銀行（単体） 営業の状況

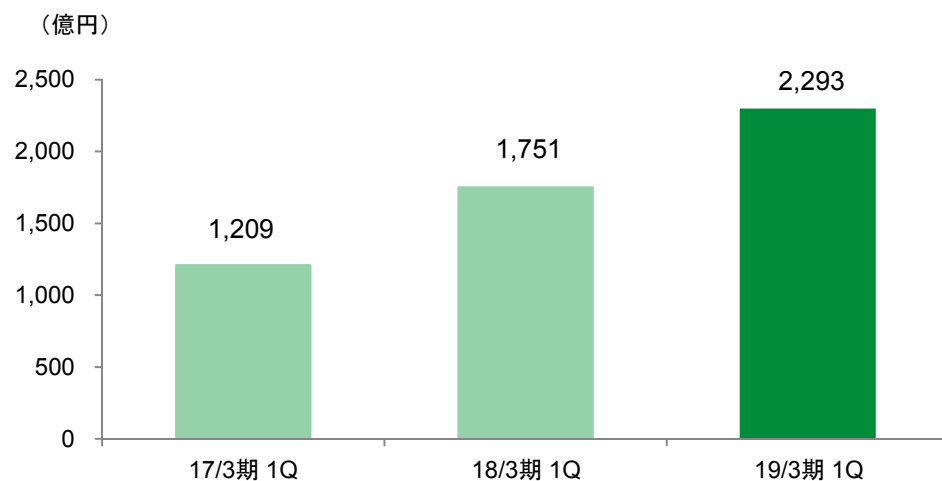
貯金残高



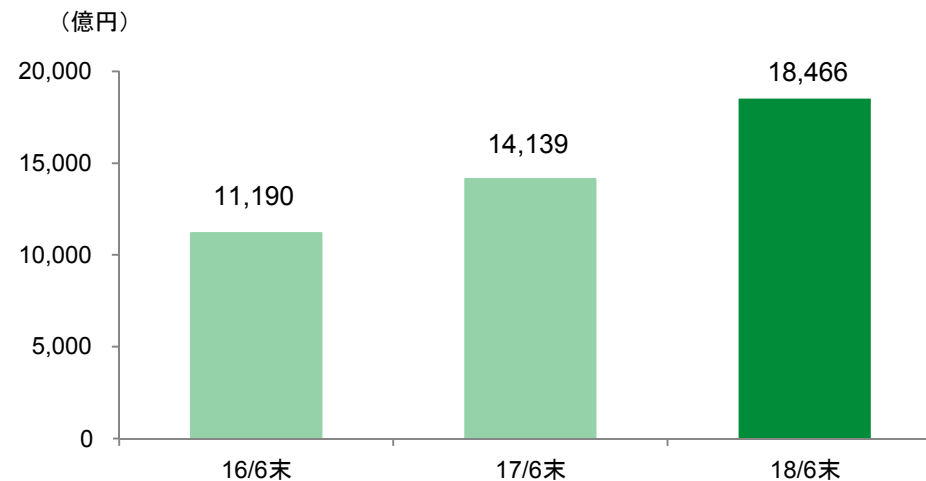
役務取引等利益



投資信託（販売額）

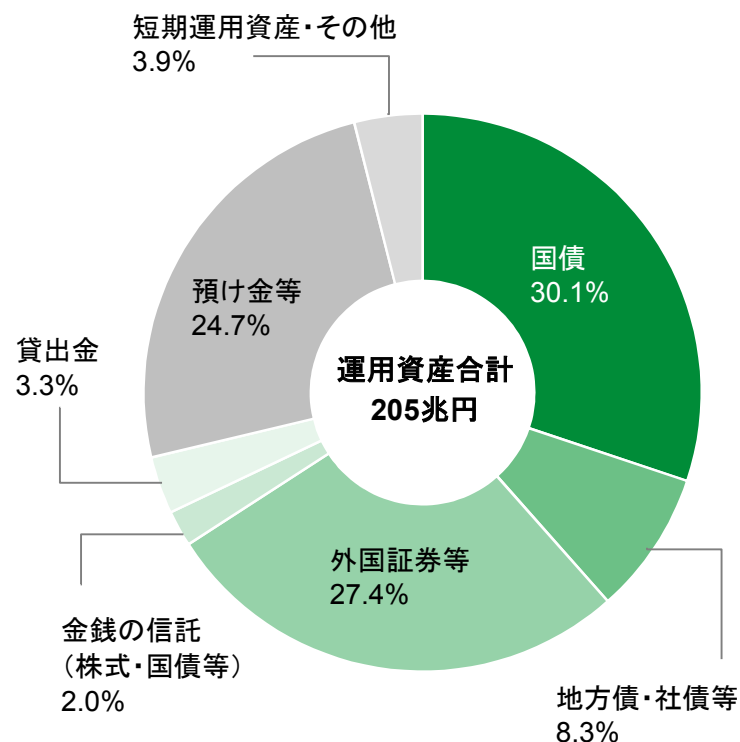


投資信託（純資産残高）



注: 表示単位未満は切捨て。

ゆうちょ銀行（単体） 資産運用の状況



	(億円)				
	2019/3期 第1四半期	構成比 (%)	2018/3期	構成比 (%)	増減
有価証券	1,354,566	65.8	1,392,012	67.0	△ 37,446
国債	619,887	30.1	627,497	30.2	△ 7,610
地方債・社債等 ^{注1}	170,962	8.3	171,526	8.2	△ 564
外国証券等	563,717	27.4	592,988	28.5	△ 29,271
うち外国債券	204,254	9.9	202,443	9.7	+ 1,811
うち投資信託 ^{注2}	359,306	17.4	390,426	18.7	△ 31,120
金銭の信託 (株式・国債等)	43,196	2.0	42,415	2.0	+ 780
うち国内株式	23,468	1.1	22,861	1.1	+ 607
貸出金	68,193	3.3	61,455	2.9	+ 6,737
預け金等 ^{注3}	510,087	24.7	493,146	23.7	+ 16,941
短期運用資産・ その他 ^{注4}	81,108	3.9	88,306	4.2	△ 7,197
運用資産合計	2,057,152	100.0	2,077,335	100.0	△ 20,183

注1: 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。

注2: 投資信託の投資対象は主として外国債券。

注3: 「預け金等」は譲渡性預け金、日銀預け金、買入金銭債権。

注4: 「短期運用資産・その他」はコールローン、債券貸借取引支払保証金等。

かんぽ生命 決算の概要

当第1四半期の経営成績

(億円、%)

	2019/3期 第1四半期	2018/3期 第1四半期	増減
経常収益	19,786	21,135	△ 1,348
経常費用	19,034	20,303	△ 1,269
経常利益	752	832	△ 79
四半期純利益	340	241	+ 99

(参考: 単体決算情報)

基礎利益	988	936	+ 52
キャピタル損益	△ 156	12	△ 168
臨時損益	△ 81	△ 117	+ 36
経常利益	750	831	△ 80

個人保険 新契約 年換算保険料	946	1,045	△ 99
--------------------	-----	-------	------

	2019/3期 第1四半期	2018/3期	増減
個人保険 保有契約 年換算保険料 ^{注1}	48,239	48,595	△ 355

連結ソルベンシー・ マージン比率	1,138.6	1,131.8	+ 6.8
---------------------	---------	---------	-------

連結実質純資産額	128,789	129,048	△ 259
----------	---------	---------	-------

注1: 保有契約には簡易生命保険の保険契約を含む。簡易生命保険の保険契約は、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している簡易生命保険の保険契約をいう。

注2: 金額は億円未満を切捨て。

注3: 第三分野の新契約及び保有契約年換算保険料の数値は、P10「保険契約の状況」を参照。

概要

■ 当第1四半期の経常利益は、基礎利益が増加したものの、金融派生商品費用等のキャピタル損益が損失になったこと等により、前年同期比79億円減の752億円。

四半期純利益は、無配当特約の増加に伴う契約者配当準備金繰入額の減少等により、前年同期比99億円増の340億円。通期業績予想に対して38.7%の進捗率。

■ 個人保険の新契約及び保有契約年換算保険料は、共に前年同期(前期末)比で減少したものの、第三分野の新契約及び保有契約年換算保険料は、共に堅調に推移。^{注1、注3}

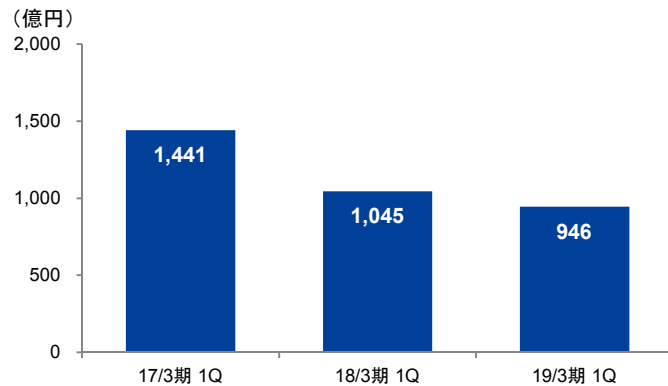
■ 危険準備金及び価格変動準備金を合計した内部留保額は、2兆9,946億円。

■ 健全性の指標である連結ソルベンシー・マージン比率は、1,138.6%、連結実質純資産額は、12兆8,789億円と引き続き高い健全性を維持。

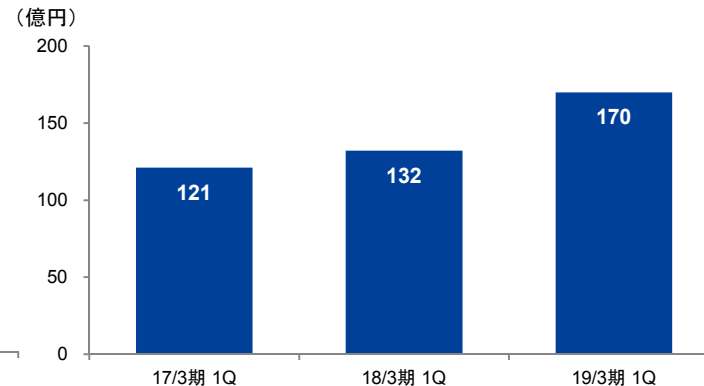
かんぽ生命 保険契約の状況

新契約

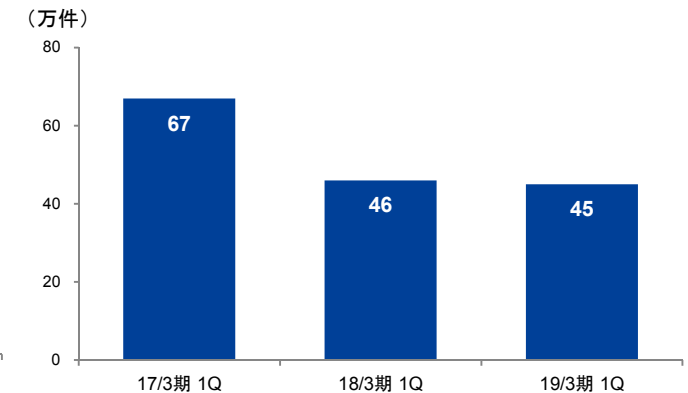
新契約年換算保険料（個人保険）



新契約年換算保険料（第三分野）

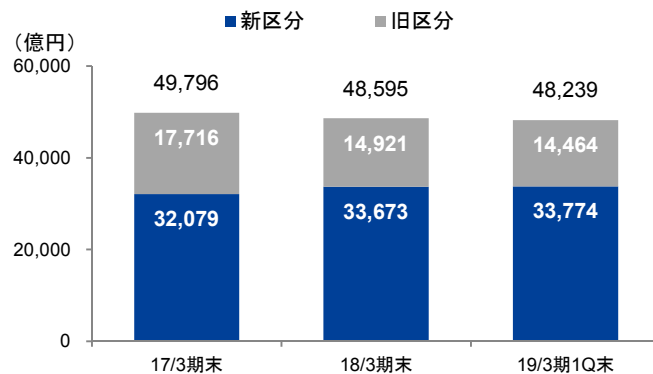


新契約件数（個人保険）

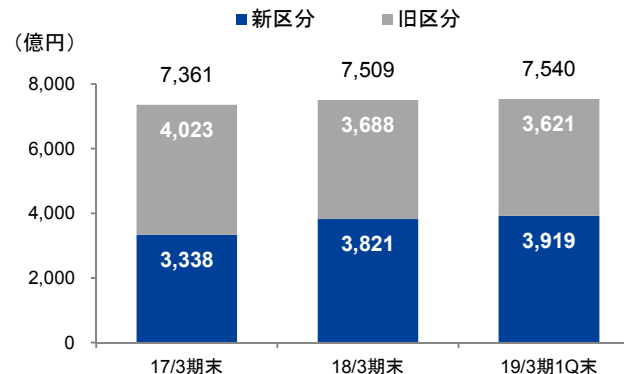


保有契約

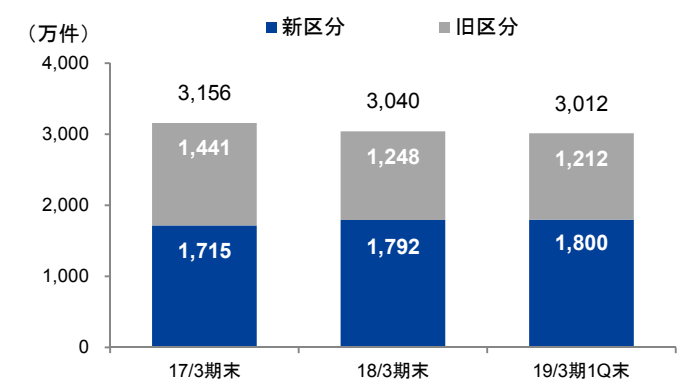
保有契約年換算保険料（個人保険）



保有契約年換算保険料（第三分野）



保有契約件数（個人保険）



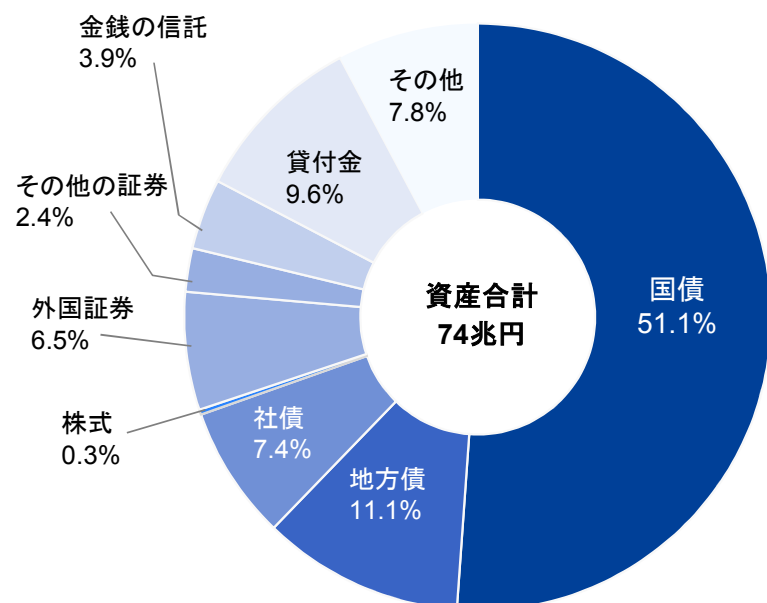
注1：年換算保険料は億円未満、契約件数は万件未満を切捨て。

注2：年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。

年換算保険料（個人保険）は個人保険に係る第三分野を含み、年換算保険料（第三分野）は個人保険と個人年金保険に係る第三分野の合計値。

注3：「新区分」は、かんぽ生命保険が引受けた個人保険を示し、「旧区分」は、かんぽ生命保険が独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を示す。

かんぽ生命 資産運用の状況

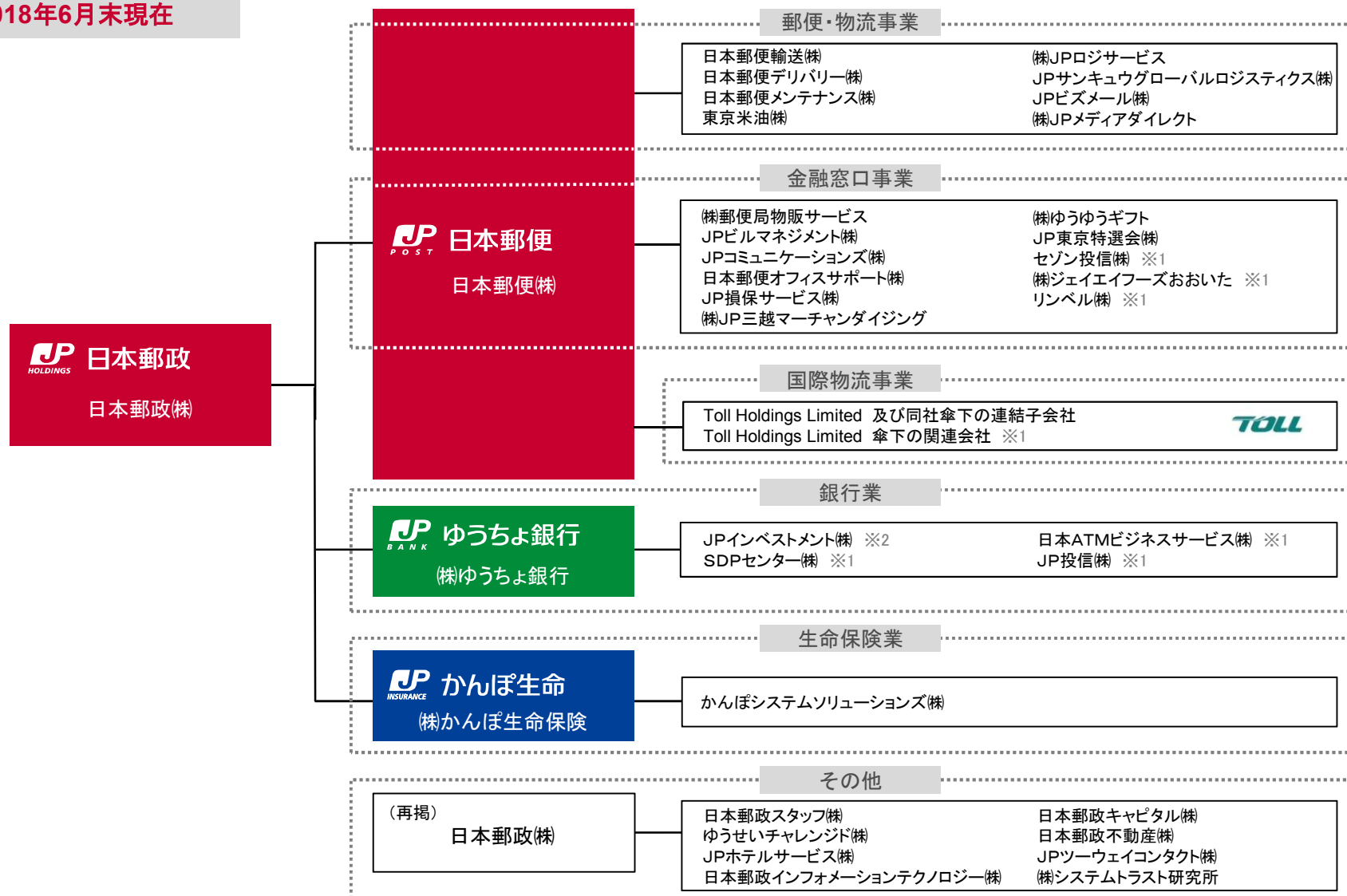


(億円)

	2019/3期 第1四半期	構成比 (%)	2018/3期	構成比 (%)	増減
有価証券	590,496	78.8	601,309	78.3	△ 10,812
国債	383,316	51.1	395,898	51.5	△ 12,582
地方債	83,233	11.1	85,135	11.1	△ 1,902
社債	55,192	7.4	54,729	7.1	+ 463
株式	2,086	0.3	1,953	0.3	+ 132
外国証券	48,671	6.5	43,475	5.7	+ 5,195
その他の証券	17,995	2.4	20,115	2.6	△ 2,119
金銭の信託	29,166	3.9	28,148	3.7	+ 1,018
貸付金	71,701	9.6	76,271	9.9	△ 4,569
その他	58,217	7.8	62,583	8.1	△ 4,365
総資産	749,583	100.0	768,312	100.0	△ 18,729

〔参考1〕 グループ会社関係図

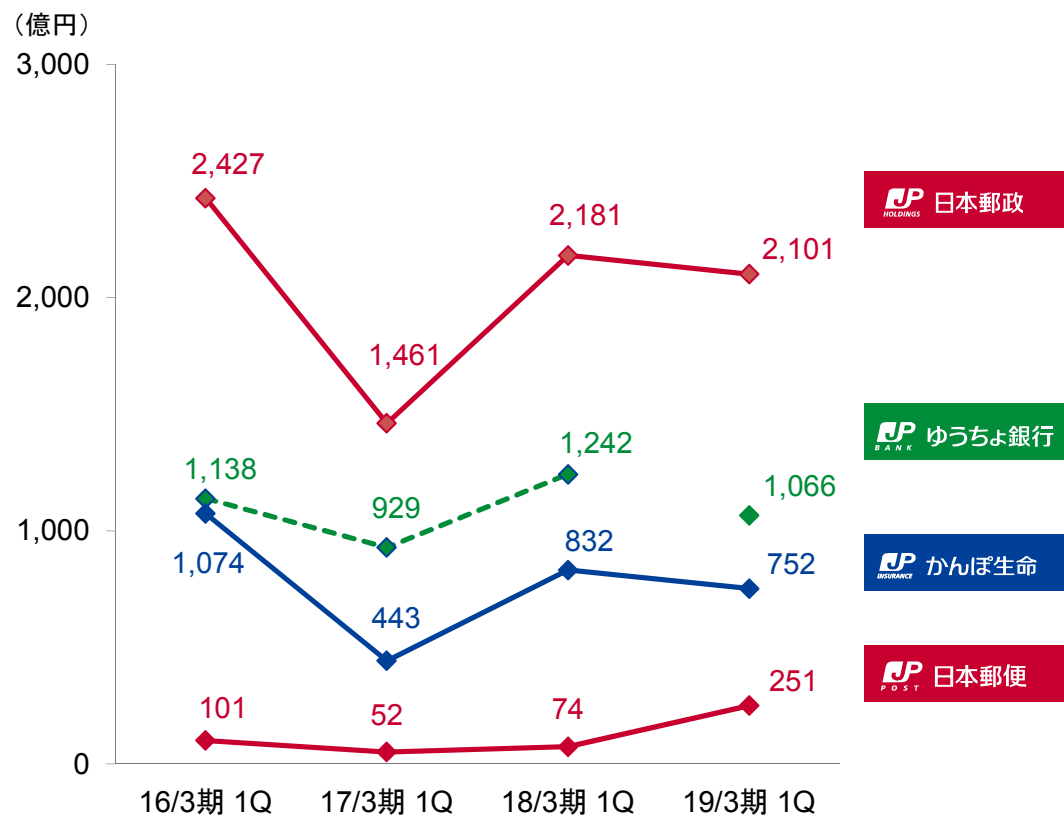
2018年6月末現在



※1 持分法適用関連会社 ※2 傘下の連結子会社含む

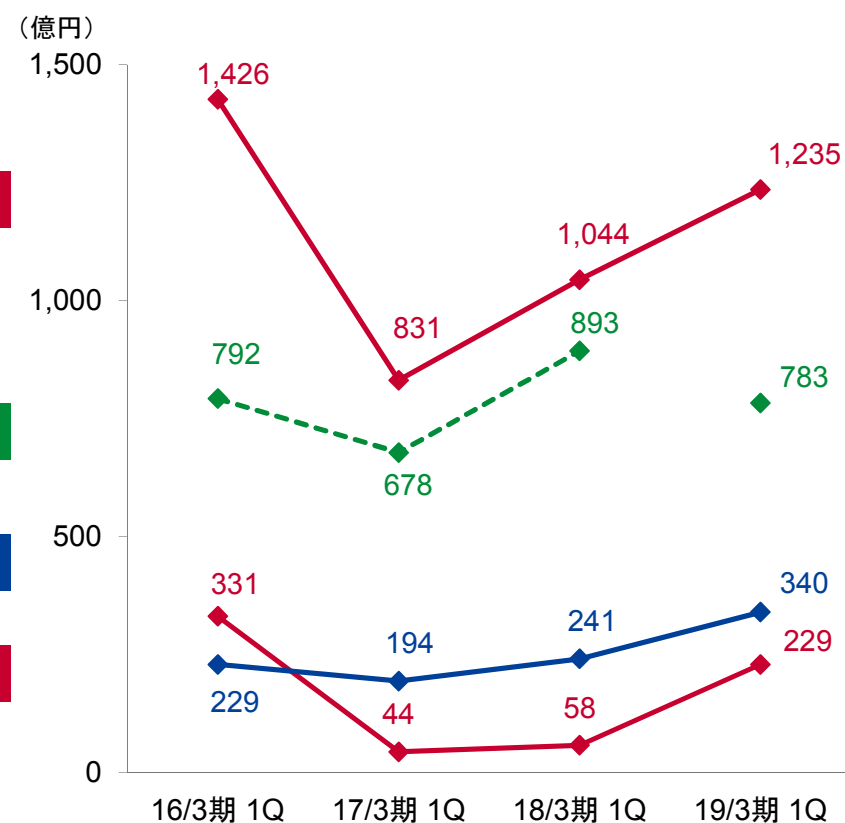
〔参考2〕 経常利益・四半期純利益の推移

経常利益の推移



※ ゆうちょ銀行の16/3期1Qから18/3期1Qまでは単体決算ベースの数値。その他は連結決算ベースの数値。

四半期純利益の推移



本資料に記載されている通期業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、金利の変動、株価の変動、為替相場の変動、保有資産の価値変動、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。